



令和 2 年（2020 年） 10 月 2 日

報道機関各位

「北総研防火木外壁（PS仕様）」が、建築基準法における防火構造の大臣認定を取得し、実用化されました。

◆ 概 要

地方独立行政法人北海道立総合研究機構（道総研）建築研究本部 北方建築総合研究所では、外装材に木材を用いた「北総研防火木外壁」の第 2 弾として、付加断熱材にポリスチレンフォーム断熱材(PS)を用いた「PS 仕様」を開発し、この技術を用いて押出発泡ポリスチレン工業会、発泡スチロール協会（申請者：デュボン・スタイロ株式会社、株式会社カネカ、株式会社 JSP、日本フォームスチレン工業組合）は、建築基準法に定められる「防火構造」の国土交通大臣の認定を取得しました。

この「北総研防火木外壁（PS 仕様）」は、北方建築総合研究所が林産試験場と共同で取り組んだ道総研重点研究「道産資材を用いた木造高断熱外壁の耐火火構造の開発」（平成 29 年度～令和元年度）の研究成果の一部を、押出発泡ポリスチレン工業会、発泡スチロール協会に技術移転したものです。

「北総研防火木外壁（PS 仕様）」は、建築事業者に自由にお使いいただけます。

1 大臣認定を取得した外壁名

- ・「北総研防火木外壁（PS仕様）」

2 大臣認定を取得した外壁の認定番号と構造名

- ・PC030BE-3884（1），（2）～ 3887（1），（2）
- ・グラスウール（ロックウール）断熱材充てん／
木材・ポリスチレンフォーム断熱材・構造用面材表張／
せっこうボード裏張／木製軸組造外壁

3 「北総研防火木外壁（PS仕様）」の社会的意義

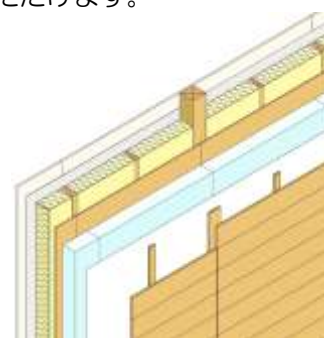
- ・木材仕上げには、高い人気があり、道民のニーズに対応できます。
- ・法令の防火規制に適合しつつ、木材を外装材に使用できます。
- ・北海道で広く普及している高断熱仕様の外壁であり、特殊な施工を要しません。
- ・道産木材の利用を促進し、道内産業の振興森林資源の有効活用に貢献します。

4 「北総研防火木外壁（PS仕様）」の普及方法

- ・押出発泡ポリスチレン工業会、発泡スチロール協会会員各社を通じ建築事業者へ普及します。

5 今後の予定

- ・「北総研防火木外壁」は、第 3 弾として、硝子繊維協会・ロックウール工業会共同でグラスウール・ロックウール仕様の大臣認定手続きを進めており、認定を取得次第、お知らせする予定です。



◆報道に当たってのお願い

多くの皆様に大臣認定を取得した技術を知っていただけるよう、北方建築総合研究所（旭川）にて取材を承ります。

詳しくはこちらへお問い合わせください。

地方独立行政法人北海道立総合研究機構（道総研）

建築研究本部北方建築総合研究所 企画調整部企画課（担当者：高倉）

TEL：0166-66-4218 E-mail：nrb@hro.or.jp ※平日 8：45～17：30

押出発泡ポリスチレン工業会 TEL：03-5402-3928 <https://www.epfa.jp/>

発泡スチロール協会 TEL：03-3861-9046 <https://www.jepsa.jp/>

木材を外装材に用いて「防火構造」の大臣認定を取得できる木造高断熱外壁を開発しました。



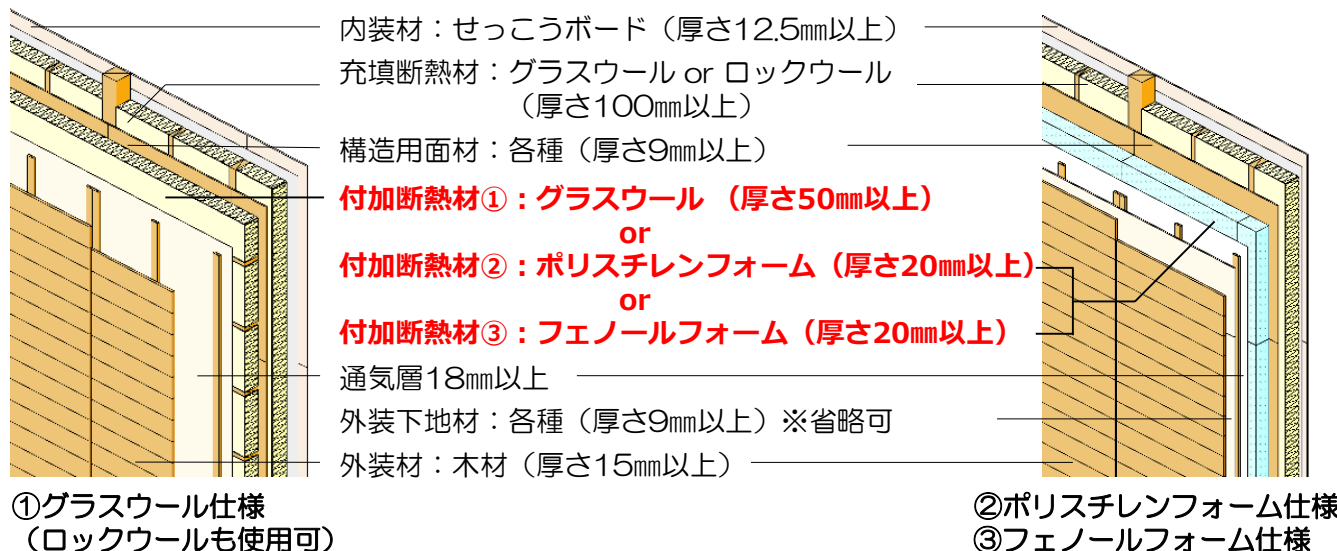
木材を外装材に用いた住宅

背景

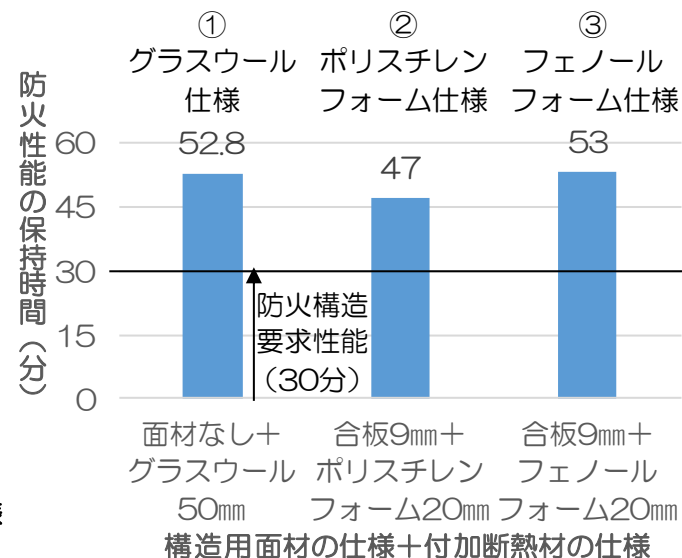
- 北海道で普及する木造高断熱外壁は、高い断熱性を上手に生かせば、高い防火性を実現できます。
- 木材の外装材には強いニーズがありますが、建築基準法の防火規制により使用が制限されます。
- 木材を外装材に広く使ってもらうためには、外壁として建築基準法の大臣認定の取得が必要です。

成果

1 「防火構造」の大臣認定を取得できる木造高断熱外壁を3種類、開発しました。



2 開発した外壁は、いずれも十分な防火性能を持っています。



期待される効果

- 大臣認定の取得により、魅力ある建築デザインの1つとして、道内の建築事業者を通じて広く普及が見込まれます。
- 建築物への道産木材の利用を促進し、北海道の森林資源の循環および地域産業の振興に貢献します。